

4ヶ月児を育児中の母親の ソーシャルサポートに関する考察

——友達との関係を中心に——

林 富 公 子

I. 問題と目的

筆者(2007)は、初妊婦にとって友達が気持ちを分かってくれるかどうかは、夫や姑との関係、産後始まる育児に対する取り組み方に影響があるとした。猪熊(2007)はまた、妊婦の中には子どもの育ち方や育て方についての知識が少なく、出産直後の赤ちゃんはほとんど手がかからないと楽観的に受け止めている親もいること、しかし実際に出産や育児を行う中で母親になることを楽しみに思っていた母親でさえ、赤ちゃんと初めて暮らす生活は、育児と家事に追われて睡眠も十分に取れず、子どもの表情や発声、動きが何を意味しているのかわからず泣きたくなくなってしまふと述べている。

さらに、「周りに人間関係がなくなって、母と子の二人だけで向き合う孤独が子どものいじめにつながるという訴えもよくある」(武田1998)や、「母親に対してより充実した多様性を持つソーシャルサポートが育児不安を和らげる」(福成2004)からも分かるように、サポートは妊娠時にだけでなく産後にも重要であるといえるだろう。

ソーシャルサポートとは、Caplan(1974)が「①情緒的負荷軽減のための支援、②仕事の分担、③金・物資・道具・技術などの提供」とし、Cobb(1976)は「①気にかけられ、愛されている、②尊重され、価値があるものとみなされている、③相互に義務があるネットワークのメンバー」と定義しているが、各研究者が様々な定義を行っているものの統一された定義がないのが現状である。しかし最近の研究では、「受け手が実際にサポートを受けたか否かの事実よりも、サポートを受けたとの主観的認識を持つか否かが重要であるということ(小杉1999)」、「感情的サポートと物質的サポートに分類可能である(Norbeck1987)」とされていることから、サポートを受ける人がこれら2つのサポートを受けていると実感することが重要であると考えられている。

乳児をもつ母親に対するソーシャルサポートの研究では、榮ら(2006)が産後6ヶ月における母親の夫へのサポート期待と育児不安について調査し、育児不安が大きい母親は夫が子育てに責任を持っていないと感じたり、夫からのサポートを期待する割合も高いことを示唆した。大町(2006)は母親の育児負担感と父親の育児協力との関係を明らかにし、育児負担感は母親のほう

が強く感じていること、父母共に育児を負担に感じながらも、喜びという対処で乗り越えていると述べている。さらに、細野（2004）は産婦人科の母親教室に参加した者、健診（3ヶ月、1歳半、3歳）や親子教室の参加者、保育園に子どもを預けている母親らを対象に、育児肯定感とサポート（夫、親として先輩だと思ふサポート源、同輩である母親の同世代の女性）との関係を調査し、夫は「日常的に」育児・家事を手伝う、先輩は「急な用事や事態に」育児・家事を手伝う、同輩は「困ったり悩んだとき」助言する、など、母親とサポート源との関係によって、同じサポート機能が「日常的」「緊急時」「必要に応じて」といった場面ごとに分担されていることを示した。伊藤（2006）は妊娠期から産褥期までの女性の心理・社会的状態の変化とソーシャルサポートの関連を検討した結果、ソーシャルサポート支持的支援者の少人数群は大人数群よりも「家事・育児の心配」「心身疲労」の得点が高得点であると述べた。藤田ら（2006）は、核家族は子育てに孤独感を感じていること、拡大家族は血縁関係にサポートが期待できる反面、親世代の育児的ストレスも考慮する必要があると考えた。

このように見ていくと、夫からのソーシャルサポートの研究結果は多く発表されていることがわかる。しかし同時に、核家族化の進行や子育て世代の男性の長時間労働が言われることにより実際の夫のサポートが望みにくいことも、昨今の問題としてある。一方で、育児用品サイトで「ママ友」募集の欄があったりすることや、実際にインターネットを通じて子育ての悩みを相談する人もいる。さらに、子育て中の人の中には「遠くの親戚よりも近所の友達」という人もおり、友達との関係を考えることは、現代の母親におけるソーシャルサポートとストレスの関係を調べる中で必要と思われる。

前回の研究（2006）と合わせて、妊娠前後の女性のソーシャルサポートに関する比較も視野に入れ、生後3ヶ月になり頸がすわってきてより人間らしさが出てきた赤ちゃんと、その後1ヶ月過ごした、4ヶ月の子どもを持つ母親にとって、友達からのどのようなサポートがその他の人との関係やメンタルヘルスに影響するかを考察する。

調査 1

I 調査内容および調査方法

1. 調査対象

A市で行われている4ヶ月健診に出席した第一子が4ヶ月の子どもである母親を調査対象とした。A市の4ヶ月健診に来た母親583名に、研究の趣旨を説明した上で、調査票を入れた返信用封筒を配布し、後日郵送による回収を行った。216名の回収があり、回答不備と2人以上の子どものいる母親を除いた118名を有効回答とした（有効回答率20.2%）。調査時期は2007年2月～4月である。

母親の平均年齢は30.92歳（範囲20～41歳、SD

Table 1 妊娠前の子どもとの関わり(第1子)

		人数	%
子どもとのかわり	ある	78	66
	なし	40	34
ある人の内訳 (複数回答)	甥姪	52	44
	友達の子ども	51	43
	仕事	10	08
	その他	6	05

4.08) であった。

妊娠以前の子どもとのかかわりを Table 1 に示した。この他には、障害児の余暇活動ボランティア、看護実習、職場に保育所がありそこにあずけられている子どもと関わった、弟、幼児教育学部に通っていた、専門学校の実習項目に保育実習があったがあった。

2. 調査内容

本研究の目的は、母親にとって友達からのソーシャルサポートとメンタルヘルスの関連性を明らかにすることである。

今回のスケールは、前研究の初妊婦のメンタルヘルスとの比較も将来的に視野に入れていることから、前回の研究で使用した初妊婦のメンタルヘルスに関する質問項目を使用した。ただし①：育児経験のあるものや S 大学大学院で幼児教育を専攻する学生、A 市の保健師らの意見を聞き、質問項目がより 4 ヶ月児を持つ母親にふさわしいものとなるように、文言などを訂正した。②：①より 19 項目 5 件法（全く思わない、あまり思わない、どちらともいえない、少し思う、とても思う）の質問紙とフェイスシートを作成した。尚、質問項目の内容は論文末に記した。

II. 結果と考察

友達が相談にのってくれる、気持ちを分かってくれる、育児に協力してくれる場合を、それぞれ A 群、してくれない場合を、それぞれ N 群とし、メンタルヘルス項目との関連についてみた。度数に 5 未満の項目があったので、フィッシャーの直接確率検定を使用し検定を行った。(Table 2~4)

「相談に乗ってくれる」の s2 「育児サークルに思うように参加できない」 ($p < .05$) にのみ、有意差が見られた。この結果より、相談にのってくれる友達がいない母親は、のってくれる友達がいる母親に比べて、育児サークルなどに参加できないと思っていることが分かった。

「気持ちを分かってくれる」の s11 「日々、自分の子どもの健康状態が気になる」 ($p < .01$) に有意差が見られた。このことから、友達に気持ちを分かってもらえないと思う母親は、子どもの日々の姿に対する不安があると思われた。

「協力してくれる人がある」の s5 「育児について思うように学んだり、本を読んだりする時間がない」 ($p < .05$) と、s8 「私は世の中で役に立つ人間である」に有意差が見られた ($p < .05$)。この結果から、実際的に育児に協力してもらっている人のほうが、育児に対しても前向きに取り組んでいると思われた。

Table 2 困ったときに相談できる友達がいるか (第1子)

	A 群 85 人			N 群 33 人			p
	合計	平均	SD	合計	平均	SD	
s 1	117	1.38	.60	42	1.27	.52	*
s 2	273	3.21	.97	118	3.58	.83	
s 3	207	2.44	1.14	74	2.24	1.30	
s 4	214	2.52	1.12	85	2.58	1.20	
s 5	256	3.01	1.18	94	2.85	1.18	
s 6	236	2.78	1.26	91	2.76	1.26	
s 7	132	1.55	.75	54	1.64	.78	
s 8	259	3.05	.90	99	3.00	.83	
s 9	257	3.02	1.13	96	2.91	1.21	
s 10	271	3.19	1.22	105	3.18	1.26	
s 11	363	4.27	.85	129	3.91	1.07	
s 12	271	3.19	.98	107	3.24	1.17	
s 13	311	3.66	.93	124	3.76	1.20	
s 14	219	2.58	1.03	84	2.55	1.23	
s 15	307	3.61	1.01	126	3.82	1.04	
s 16	288	3.39	1.17	107	3.24	1.30	
s 17	240	2.82	1.19	92	2.79	1.27	
s 18	214	2.52	1.16	88	2.67	1.27	
s 19	365	4.29	.86	136	4.12	.96	

*p<0.05

Table 3 気持ちを分かってくれる友達がいるか (第1子)

	A 群 88 人			N 群 41 人			合計
	平均	SD	合計	平均	SD	p	
s 1	108	1.40	.63	51	1.24	.44	**
s 2	246	3.19	.95	145	3.54	.90	
s 3	182	2.36	1.12	99	2.41	1.30	
s 4	193	2.51	1.08	106	2.59	1.25	
s 5	229	2.97	1.18	121	1.95	1.18	
s 6	222	2.88	1.21	105	1.56	1.32	
s 7	123	1.60	.75	63	1.54	.78	
s 8	235	3.05	.84	120	2.93	.82	
s 9	240	3.12	1.12	113	2.76	1.18	
s 10	256	3.32	1.18	120	2.93	1.29	
s 11	336	4.36	.72	156	3.80	1.15	
s 12	247	3.21	.94	131	3.20	1.21	
s 13	287	3.73	.97	148	3.61	1.09	
s 14	201	2.61	1.02	102	2.49	1.21	
s 15	279	3.62	.99	154	3.76	1.09	
s 16	261	3.39	1.19	134	3.27	1.23	
s 17	226	2.94	1.16	106	2.59	1.26	
s 18	191	2.48	1.12	111	2.71	1.31	
s 19	325	4.22	.88	176	4.29	.90	

**p<0.01

Table 4 育児に協力してくれる友達がいるか (第1子)

	A 群 11 人			N 群 107 人			合計
	平均	SD	合計	平均	SD	p	
s 1	13	1.18	.41	146	1.36	.59	*
s 2	35	3.18	1.25	356	3.33	.91	
s 3	32	2.91	1.30	249	2.33	1.16	
s 4	24	2.18	1.25	275	2.57	1.13	
s 5	25	2.27	1.01	325	3.04	1.17	
s 6	28	2.55	1.21	299	2.79	1.26	
s 7	18	1.64	.81	168	1.57	.75	
s 8	39	3.55	.69	316	2.95	.83	
s 9	31	2.82	1.40	322	3.01	1.13	
s 10	30	2.73	1.49	346	3.23	1.19	
s 11	43	3.91	1.04	449	4.20	.92	
s 12	36	3.27	1.42	342	3.20	1.00	
s 13	32	2.91	1.58	403	3.77	.91	
s 14	27	2.45	1.29	276	2.58	1.06	
s 15	38	3.45	1.04	395	3.69	1.02	
s 16	29	2.64	1.50	366	3.42	1.15	
s 17	26	2.36	1.29	306	2.86	1.19	
s 18	22	2.00	1.10	280	2.62	1.19	
s 19	46	4.18	.41	455	4.25	.92	

*p<0.05

調査 2

I. 調査内容および調査方法

1. 調査対象

ここでは調査 1 で回収した 216 名中、回答不備と第一子の子どもを持つ母親を除く 93 名を調査対象とした (有効回答 15.9%)。

母親の年齢は平均 32.47 歳 (範囲 21~42 歳、SD は 4.30) であった。

妊娠以前の子どもとのかかわりを Table 5 に示した。この他には、いとこ 2、歳のはな

Table 5 妊娠前の子どもとのかかわり

		人数	%
子どもとのかかわり	ある	63	68
	なし	30	32
ある人の内訳 (複数回答可)	甥姪	31	38
	友達の子ども	33	41
	仕事	13	16
	その他	4	5

れた妹1、キリスト教会に行っているのですこの日曜学校でよくかかわっていた1がであった。

2. 調査内容

研究1と同様である。

II. 結果と考察

友達が相談にのってくれる、気持ちを分かってくれる、育児に協力してくれる場合を、それぞれA群、してくれない場合を、それぞれN群とし、メンタルヘルスとの関連についてみた。度数に5未満の項目があったので、フィッシャーの直接確率検定を使用し、検定を行った。

「困った時に相談にのってくれる人がいる」のうちs1「一般的に育児は有意義なものでない」(p<.05)、s2「育児サークルに思うように

Table 6 困ったときに相談できる友達がいるか (第2子)

	A群 78人			N群 16人			合計
	平均	SD	合計	平均	SD	p	
s 1	114	1.46	.85	27	1.8	.67	*
s 2	220	2.82	1.18	56	3.73	1.1	**
s 3	166	2.13	1.16	41	2.73	1.36	
s 4	183	2.35	1.14	45	3	1.41	
s 5	248	3.18	1.2	48	3.2	1.27	
s 6	206	2.64	1.11	47	3.13	1.19	
s 7	116	1.49	.68	27	1.8	.86	
s 8	216	2.77	.93	37	2.47	1.25	
s 9	229	2.94	1.11	55	3.67	1.11	*
s 10	245	3.14	1.18	42	2.8	1.42	
s 11	302	3.87	1.05	56	3.73	1.29	
s 12	199	2.55	.94	44	2.93	1.22	
s 13	282	3.62	1.12	59	3.93	1.03	
s 14	180	2.31	1.18	45	3	1.20	*
s 15	230	2.95	1.28	51	3.4	.91	
s 16	259	3.32	1.01	52	3.47	1.36	
s 17	221	2.83	1.24	49	3.27	1.36	
s 18	167	2.14	1.17	36	2.4	1.06	
s 19	331	4.24	1.13	65	4.33	1.40	

**p<0.01 *p<0.05

Table 7 気持ちを分かってくれる友達がいるか (第2子)

	A群 60人			N群 35人			合計
	平均	SD	合計	平均	SD	p	
s 1	87	1.47	.90	54	1.59	.70	
s 2	175	2.97	1.20	101	2.97	1.24	
s 3	123	2.08	1.21	84	2.47	1.16	
s 4	140	2.37	1.11	88	2.59	1.35	
s 5	190	3.22	1.13	106	3.12	1.34	
s 6	165	2.80	1.05	88	2.59	1.26	
s 7	87	1.47	.68	56	1.65	.77	
s 8	159	2.69	.97	94	2.76	1.02	
s 9	173	2.93	1.13	111	3.26	1.14	
s 10	185	3.14	1.18	102	3.00	1.30	
s 11	226	3.83	1.09	132	3.88	1.15	
s 12	147	2.49	.92	96	2.82	1.09	
s 13	206	3.49	1.10	135	3.87	1.06	*
s 14	133	2.25	1.12	92	2.71	1.29	
s 15	179	3.03	1.26	102	3.00	1.21	
s 16	189	3.20	.98	122	3.59	1.19	
s 17	162	2.75	1.20	108	3.18	1.34	
s 18	125	2.12	1.18	78	2.29	1.12	
s 19	248	4.20	1.19	148	4.35	1.15	

*p<0.05

Table 8 育児に協力してくれる友達がいるか (第2子)

	A群 29人			N群 66人			合計
	平均	SD	合計	平均	SD	p	
s 1	41	1.46	.88	100	1.54	.81	
s 2	80	2.86	1.18	196	3.02	1.23	
s 3	63	2.25	1.21	144	2.22	1.21	
s 4	65	2.32	1.09	163	2.51	1.25	
s 5	89	3.18	1.19	207	3.18	1.22	
s 6	66	2.36	1.10	187	2.88	1.11	*
s 7	45	1.61	.74	98	1.51	.71	
s 8	79	2.82	1.16	174	2.68	.90	
s 9	87	3.11	1.26	197	3.03	1.09	
s 10	73	2.61	1.07	214	3.29	1.23	*
s 11	107	3.82	.98	251	3.86	1.16	
s 12	75	2.68	1.02	168	2.58	.98	
s 13	108	3.86	1.11	233	3.58	1.10	
s 14	65	2.32	1.19	160	2.46	1.21	
s 15	89	3.18	1.25	192	2.95	1.23	
s 16	90	3.21	1.00	221	3.40	1.10	
s 17	80	2.86	1.41	190	2.92	1.20	
s 18	57	2.04	1.17	146	2.25	1.15	
s 19	118	4.21	1.20	278	4.28	1.17	

*p<0.05

参加できない」($p<.01$)、s 9「日々の家事に対して苦勞が多くしんどさを感じる」($p<.05$)、s 14「これから子どもとどのようにかかわっていけばいいのだろうか」と悩む」($p<.01$)に、有意差が見られた。

これらから、困ったときに相談できる友達がいることはいない人に比べて、育児を楽しんでいるように思われる。

「気持ちを分かってくれる」の s 13「主婦に対する世の中の社会的地位は低いと思う」($p<.05$)にのみ、有意差があった。友達が気持ちを分かってくれることは、どちらかという、第2子以上が4ヶ月児である子どもを持つ母親のメンタルヘルスには影響が少ないと考察できた。

「育児に協力してくれる」の s 6「育児の都合でその日の予定に急な変更があった場合私は困惑する」($p<.05$)、s 10「最近、育児のことしか考えていないように思う」($p<.01$)に、有意差があった。友達が育児に協力してくれる人は自分の時間を持ちつつ、余裕を持って育児にとりくんでいると考えられた。

Ⅲ. 全体的考察と今後の課題

本研究は、4ヶ月児を持つ母親にとって友達からのどのようなサポートがメンタルヘルスの項目に影響を及ぼすのかについて、第一子 118 人、第二子以上 93 人を対象に検討した。その結果から以下のことが分かった。

友達とのかかわりを中心に見た母親のメンタルヘルスについては、4ヶ月児が第一子の場合と第二子以上では大きな違いが見られた。第二子以上では、友達からの協力（相談にのってくれる、気持ちを分かってくれる、育児に協力してくれる）によって、母親が楽しみや自分の時間も持ちながら、余裕を持って育児をしていることが伺えた。

また同じ被験者に自由記述で、「あなたにとってあなたの子どもはどのような存在ですか」と聞いたところ、「『宝物』ではあるけれど手もかかるし、重荷に感じることもある存在。時々自由を奪われているような気にもなる」、「4ヶ月の子供のため、まだ今のところ負担に思う」、「子どもから離れての行動を制限されるため、負担に感じることも多々ある」、「かわいいと思うし、心を癒す存在だが自分の時間がなくなったり、いらいらしてしまったり負担にも感じる」、「愛しいけれどとても手がかかる」と記述している。このことから分かるように、育児に手のかかる4ヶ月という子どもを持つ母親は、なによりもまず具体的な育児のサポートを必要としていることが伺えた。

今回、4ヶ月児を持つ母親の、友達からのサポートとメンタルヘルスの項目についてみてきたが、最後に本研究の問題点および今後の検討課題について述べる。本研究は、友達との関係について質問しているが、その友達とどのようにコミュニケーションをとっているか（会う、電話、メールなど）、それはどのくらいの頻度なのかということについては質問していないし、いつ知

り合ったかということについても聞いていない。その友達とのかかわり方なども併せて検討することにより、その特徴がいつそう明確化され则认为られる。

謝辞

この研究をするにあたってご協力していただいた4ヶ月の子どもを持つ保護者の方々、A市の保健センターの方々、ご指導いただきました服部照子教授、夫と息子、実家の両親に感謝いたします。

引用文献

- Caplan, G. (1974) Support Systems and Community. *Mental Health: Lectures on Concept Development*, New York: Behavioral Publications 1-40 近藤喬一他訳 (1979) 地域ぐるみの精神衛生 星和書店
- Cobb, S. (1976) Social Support as a Moderator of Life Stress, *Psychosomatic Medicine*, 38 300-314
- 藤田小矢香、西村雅子、前田隆子、鈴木康江 核家族と大家族の母親の育児ストレスに関する研究 (2006) *母性衛生* 47, 3, 176
- 福成真規子 (2004) 母親の育児不安に関する一考察 武庫川女子大学発達臨床心理学研究所紀要 (6) pp.165~171
- 林富公子 (2007) 初妊婦の精神健康に関する一考察 聖和大学論集 A・B, 教育学系・人文学系 35号 p 195~203
- 細野久容 (2004) 乳幼児の母親を支える環境について—ソーシャルサポート, サポート源への母親の評価と, 育児満足度との関連について— *乳幼児医学・心理学研究* 13(1), 41-55
- 猪熊弘子 (2007) 誤ったサポートにストレスを感じていませんか? 朝日新聞社 *AERA with Baby* 1, 60
- 伊藤道子 (2006) 妊娠期から産褥期までの女性の心理・社会的状態とソーシャルサポート 北海道医療大学看護福祉学部紀要 13, 1-9
- 小杉正太郎 (1999) ストレス緩衝要因の研究動向 ストレス研究の基礎と臨床 現代のエスプリ別冊 至文堂 p 163-172
- 森田明美、上田美香 (2005) 子どもの育ちと子育てに関する研究: 出産前の男女への学習プログラムの開発 東洋大学人間科学総合学科研究所紀要 4 66-67
- Norbeck, J. S 羽田由美子訳 (1987) ソーシャルサポートに関する国際的研究の動向: 基本概念と方法論上の問題点について、*看護研究* 20(2) 180-191
- 大町福美 (2006) 育児負担感と父親の育児協力に関する研究 *母性衛生* 47, 3, 175
- 榮玲子、松村恵子、植村裕子 (2006) 産後6ヶ月における母親の育児不安 *母性衛生* 47, 3, 177
- 武田京子 (1998) わが子をいじめてしまう母親たち ミネルヴァ書房

〔はやし ふくこ 幼児教育学〕

あなたについておたずねします

- I. あなたの年齢 [歳]
- II. この健診を受診しているのは第何子ですか。
1 第一子 2 第二子 3 第三子 4 その他 ()
- III. あなたは、第一子の出産前に乳幼児と関わったことがありますか。
1 ある 2 ない
- IV. IIIで「ある」の方におたずねします。その子どもとはどのような関係でしたか。(○はいくつでも)
1 甥・姪等 2 友達の子ども等
3 子どもに関わる仕事をしている、又はしていた(下に具体的にお書きください)
()
4 その他 ()
- V. あなたは第一子出産前に仕事をしていましたか。
1 していた 2 していなかった
- VI. Vで「していた」の方におたずねします。それはどのような形態でしたか。
1 常勤(正社員) 2 契約・派遣社員 3 パートタイマー 4 自営業
5 その他 ()
- VII. Vで「していた」の方におたずねします。それはどのような職種でしたか。
1 事務職 2 総合職 3 その他 ()
- VIII. あなたは現在仕事に就いていますか。
1 就いている 2 就いていない
- IX. VIIIで「就いている」の方にお尋ねします。それはどのような形態ですか。
1 常勤 2 契約・派遣社員 3 パートタイマー 4 自営業 5 その他 ()
- X. VIIIで「就いている」の方にお尋ねします。それはどのような職種ですか。
1 事務職 2 総合職 3 その他 ()
- XI. VIIIで「就いていない」の方にお尋ねします。あなたは子育て終了後再び仕事に就きたいと思いませんか。
1 思う 2 思わない
- XII. XIで「思う」の方にお尋ねします。それはどのような形態ですか。
1 常勤 2 契約・派遣社員 3 パートタイマー 4 自営業 5 その他 ()
- XIII. XIで「思う」の方にお尋ねします。それはどのような職種ですか。
1 事務職 2 総合職 3 その他 ()

I. あなたについて、それぞれ記入もれのないよう当てはまる数字に○をしてください。

1; 全く思わない 2; あまり思わない 3; どちらともいえない 4; 少し思う 5; とても思う

- 例. 私は健康である 1-2-3-④-5
1. 一般的に育児はとても有意義なものであると思う 1-2-3-4-5
2. 育児サークルなどに思うように参加できない 1-2-3-4-5
3. 一般的に子どもとのかかわりは苦手だ 1-2-3-4-5
4. 他の主婦と自分を比較してしんどくなることがある 1-2-3-4-5
5. 育児について思うように学んだり、本を読んだりする時間がない 1-2-3-4-5
6. 育児の都合でその日の予定に急な変更があった場合私は困惑する 1-2-3-4-5

- 7. これからの育児に関して意欲がもてない 1-2-3-4-5
- 8. 私は世の中で役に立つ人間である 1-2-3-4-5
- 9. 日々の家事に対して苦勞が多くしんどさを感じる 1-2-3-4-5
- 10. 最近, 育児のことしか考えていないと思う 1-2-3-4-5
- 11. 日々, 自分の子どもの健康状態や様子が気になる 1-2-3-4-5
- 12. 私には育児をする知識や技術が不足していると思う 1-2-3-4-5
- 13. 主婦に対する世の中の社会的地位は低いと思う 1-2-3-4-5
- 14. これから, 子どもとどのように関わっていけばいいのだろうかと悩む 1-2-3-4-5
- 15. 育児サークルなどに参加することは緊張する 1-2-3-4-5
- 16. 出産をしたために自分のしたいことができない 1-2-3-4-5
- 17. 家事の量に対して報酬が少ない 1-2-3-4-5
- 18. 私は孤独を感じる 1-2-3-4-5
- 19. これから子どもが置かれる周囲の環境が気になる 1-2-3-4-5

- II. あなたが困ったとき, 相談にのってくれる人はだれですか。(○はいくつでも)

 - 1 夫 2 実母 3 姑 4 兄弟姉妹 5 友達 6 公的な人(保健師など)
 - 7 その他〈 〉

- III. あなたの気持ちを分かってくれる人はだれですか。(○はいくつでも)

 - 1 夫 2 実母 3 姑 4 兄弟姉妹 5 友達 6 公的な人(保健師など)
 - 7 その他〈 〉

- IV. 育児に協力してくれる人はだれですか。(○はいくつでも)

 - 1 夫 2 実母 3 姑 4 兄弟姉妹 5 友達 6 公的な人(保健師など)
 - 7 その他〈 〉

- V. あなたにとってあなたの子どもはどのような存在ですか。
- VI. あなたはどのような母親になりたいですか。
- VII. あなたのストレス解消法を教えてください。
- VIII. これからの育児に対しての不安や期待があればお書きください。